

生涯学習だより

問 教育課 生涯学習係
☎(83)7021

「寺子屋まつだ」活動紹介

「寺子屋まつだ」では、年間を通して幼稚園児から中学生までの子どもたちが活動しています。小学生は、月2回土曜日に英会話、算数、ペン習字、コーラス、日本舞踊、茶道、ヒップホップダンス、ボルダリングを行っています。中学生は、英語・数学を週2回行っています。

コロナ禍で制約も多い中ですが、活動する子どもたちのエネルギーが感じられます。指導に当たってくださる先生方も、子どもたちの頑張りや認めながら、温かくご指導くださっています。



数学の問題に取り組んでいる中学生



参加している小学生に感想を聞いてみました。

- ◆楽しいことがいっぱいあります。最初は馴染みたくないのかなと思っていました。コーラスやボルダリングなどの講座もあつても楽しいです。
- ◆算数、国語は、予習や復習ができるので、楽しい!!
- ◆スポーツや英語、茶道まで、いろいろな講座があり、興味を持つきっかけになる良さがあると思います。
- ◆英語・数学に参加している中学3年生の感想です。
- ◆学校よりも発展的なことも知りつつ、仲間と楽しく学べるところがいいです。
- ◆わからないところは丁寧に教えてくれるから、安心して学習に取り組めていいです。
- ◆学年ごとの小さなグループで学べるので、1人で学ぶよりも自分にとって役立った。
- ◆イベントは楽しい!いろいろなことに参加できるのがいい。

松田文化財探訪

〈特別編〉

松田小学校の郷土資料

文化財保護委員 鈴木 一行
すずき かずゆき

松田小学校の郷土資料

郷土に関する二百点程の歴史資料が松田小学校に保管されていることをご存じですか? 江戸時代から昭和にかけての民俗資料が主なものです。縄文・弥生期の石器や土器、松田城跡から発掘された「かわらけ」なども保管されています。また、当町は山村・農村・町場と3つの性格の地域から成り立っていたので、その特徴を示す資料なども見られます。

さて昨年の春、教育委員会から「校舎新築に伴い、資料を他所に移すので協力してほしい」との要請を文化財保護委員会は受けました。この申し出は私たちにっては嬉しいことでした。なぜなら、自治体によつては校舎新築を機に貴重な資料を廃棄してしまう所もあると聞いていたからです。ただ、移転先のスペースは狭く、保存に適した場所とはいええないのが残念でしたが、実は、要請を受けた保護委員や事

務局も歴史民俗資料学に関しては素人で、かつ、予算やスタッフも十分に確保されているとはいえない状態でした。そこで私たちは横浜市歴史博物館を訪れ、羽毛田・小林両学芸員のご指導を仰ぐこととしました。その結果、移転に際しては資料の整理が肝心で、そのためには資料の水洗い・撮影・カード作りなどが必要であることを学びました。しかし、このためには多くの作業員が必要です。そこで、桐生委員の勤務先である足柄高等学校の生徒たちにボランティアをお願いしたのでした。

近隣では自治体史が資料編とともに編纂されていますが、松田町ではそれに至っておりません。資料の散逸を防ぐためにも「文化」に対する意識を高めていきたいものです。



学芸員の指導を受ける生徒たち